

令和8（2026）年度 第1回 柏崎市子ども・子育て会議 議事録

- 日 時 令和8（2026）年7月3日（金） 午後1時30分～3時
- 会 場 健康管理センター3階 集団指導室
- 出席委員 植木会長、上野委員、内山委員、川本委員、工藤委員、霜田委員、田中(岳)委員、田中(夢)委員、田村委員、橋本委員、平田委員、丸山委員 【12人】※五十音順
- 欠席委員 根立委員、濱田委員 【2人】
- 事務局 中村子ども未来部長
(子育て支援課) 村山課長、田邊課長代理、山崎主任
(保育課) 山崎課長、細山課長代理、北村課長代理
(福祉課) 元井課長
(学校教育課) 山之内課長、村山課長代理 【10人】

1 開会

2 挨拶 会長

3 報告事項

- (1) 柏崎市の子ども・子育ての現状について…資料1 P1～P5
事務局より説明

- (2) 「第三期柏崎市子ども・子育て支援事業計画」と「柏崎市こども・若者計画」について
資料1 P6～8
事務局より説明

- (3) 子育て支援施策に係るアンケート調査の結果について…資料1 P9
事務局より説明

委員

子育て支援に係るアンケートにおいて、子育てがしやすいという回答が増えているのは、これまでの実績になっていると思います。ただし、一方では子育てがしにくいという意見も 17.5%ありますので、どのような御意見があるか教えていただきたいです。

事務局

子育てしにくいという回答の理由として割合が大きいのが、「子どもが安心して遊べる場所が少ない」「経済的手当や支援が少ない」等があります。子どもの年代により、各世帯の感じ方が異なっていることを確認しており、今後、アンケート結果をさらに分析していく考えであります。

委員

子育て応援券についてですが、毎年対象の方に配布されていますが、使用しなかった場合はどうなりますか。

事務局

子育て応援券の使用期間は最大２年間あり、使用率は１００％に近い状況となっています。

委員

第三期柏崎市子ども・子育て支援事業計画と柏崎市こども・若者計画で示されている子どもの年齢は国で設定されたものか、あるいは市独自で設定したものなのでしょうか。

事務局

国の策定ガイドラインなどに沿って設定しているものです。

委員

保育園は１～２歳児を無料化していますが、０歳児の状況はどうですか。

事務局

０歳児は有料としています。金額は、その世帯の市民税額等の状況や、利用時間によって異なります。

委員

子育てガイドブックは見やすいと思いますが、満足度がさほど高くない結果です。その要因について分析する必要があると思いました。

事務局

現在、ガイドブックのリニューアルに取りかかっており、より見やすく分かりやすいものにしていく考えです。

(4) 令和９年度に向けての放課後児童クラブの再編について…資料１ P10

事務局より説明

(5) 放課後児童クラブにおける県交付金の活用について…資料１ P11

事務局より説明

(6) 公立保育園における医療的ケア児の受入れ体制の整備について…資料１ P12

事務局より説明

委員

公立保育園の医療的ケア児とはどういう子どもであり、市内に何人位いるのでしょうか。

事務局

医療的ケア児とは、例えば喀痰吸引、呼吸器の管理等の医療的なケアを保育園で行わなければならない子どもであり、市内の未就学児では３名いらっしゃることを把握しています。

委員

児童クラブについて、放課後に子どもたちが楽しく過ごせるよう考えてくださっているとは思いますが、そもそもの施設の広さが十分でないことや、その上で配慮が必要な児童における施設環境の安全面が懸念されます。また、放課後等デイサービスとの連携はどうされていますか。

事務局

国が定める基準に基づき運営を行っていますが、施設によっては狭いと感じられる場所もあることは否定できません。環境の整備、改善も大きな課題と捉えております。

配慮が必要な児童につきましては、市として、できる限り受入れを行っていく考えですが、同時に利用者一人ひとりの安全を確保しなければなりませんので、他害等があれば、委託事業者とともに、しっかり対応していく考えです。

児童クラブと放課後等デイサービスを併用している児童もあり、すでに同施設と連携し、定期的に情報交換も行っているところです。

委員

中学校の部活動が2年後には完全に地域クラブ化となることから、小学校の保護者への情報提供や県の交付金を活用した放課後児童クラブの取組が、地域クラブの移行につながるような仕組みがあっても面白いと思います。

事務局

県の交付金を活用した体験プログラムのみならず、教育委員会とも共有を図ってまいります。

委員

昨年、NHKの番組で地域の図書館が地域のコミュニティデザインに大きな影響を与えているという番組がありました。中高生にとって図書館が放課後の居場所のひとつになっているものです。地域の無料バスも運行され、お孫さんを連れとおじいさんの利用もありました。

柏崎市においても参考になるのではないかと感じました。

事務局

中高生の居場所という課題の解決に向けて、他自治体における先進的な取組も参考にしながら考えてまいります。